

第24回 日本団地少年野球選手権大会 実施要項

1. 主催

日本団地少年野球連盟

2. 主管

東海団地少年野球連盟

3. 後援

デイリースポーツ社

4. 協賛

内外ゴム株式会社

5. 会期

平成29年8月26日（土）・27日（日）

6. 会場

開会式/親睦会/宿泊

・学童農園やまびこの丘

愛知県新城市玖老勢字新井9番地 ☎ 0536-35-1191

試合会場

・新城総合公園（競技場）

愛知県新城市浅谷字ヒヨイタ40 ☎ 0536-25-1144

7. 表彰

優勝チーム	日本団地少年野球連盟 デイリースポーツ社 内外ゴム株式会社	旗、楯、賞状 メダル、参加賞 楯
準優勝チーム	日本団地少年野球連盟 デイリースポーツ社 内外ゴム株式会社	楯、賞状 メダル、参加賞 楯
三位チーム	日本団地少年野球連盟 デイリースポーツ社 内外ゴム株式会社	楯、賞状 参加賞 楯
四位チーム	日本団地少年野球連盟 デイリースポーツ社 内外ゴム株式会社	楯、賞状 参加賞 楯

8. 大会役員

大会会長	金井 五十四	東海団地少年野球連盟理事長
大会副会長	中居 正夫	関西団地軟式少年野球連盟理事長
事務局長	森 建司	東海団地少年野球連盟副理事長
事務担当	泉 明夫	関西団地軟式少年野球連盟副理事長
大会審判委員長	石川 健	東海団地少年野球連盟副理事長
大会審判副委員長	柳田 俊幸	関西団地軟式少年野球連盟筆頭副理事長
大会運営	東海団地少年野球連盟	

開会式及び親睦会次第

8月26日 (土)

会 場 : 学童農園やまびこの丘

※出場チームの指導者・選手及び父兄は会場へ

15:00までには、到着し、ユニフォームを着用し着席のこと

15:00～ (進行) 事務担当 森 建司

開 会 式 : 1. 開会挨拶

2. 主催者挨拶 大会会長 金井 五十四

3. 審判長訓示 大会審判長 石川 健

4. 選手宣誓 東海代表

親 睦 会 : 5. 大会役員紹介

6. 出場チーム紹介

7. 組み合わせ抽選会

8. 閉会挨拶 大会副会長 中居 正夫

大会試合及び閉会式次第

8月27日 (日)

会 場 : 新城総合公園 (競技場)

※出場チームの指導者・選手は、8:30までに集合のこと

試 合 : 09:00～ 第1回戦 競技場A面

10:30～ " "

12:30～ 三位決定戦 競技場B面

12:40～ 決勝戦 競技場A面

閉 会 式 : 1. 選手整列

2. 成績発表 審判副委員長 柳田 俊幸

3. 表彰 大会会長 金井 五十四

4. 大会講評 大会審判長 石川 健

5. 閉会挨拶 大会副会長 中居 正夫

15:00～ (進行) 事務担当 森 建司

大会規定

1. 本大会は、平成29年度日本公認野球規則及び全軟野球規則の学童の部要項に基づく。

2. 本大会は上記のほか、下記の特別規約も設定し、特別規約が優先する。

1. 試合規則

トーナメント方式

2. 試合の成立

本大会の試合は7回戦とするが、5回が終了した場合または、5回以内でも試合開始後80分を過ぎその、インングが終了しているときは、試合成立とみなす。

3. 試合時間

決勝戦を除き、試合開始後80分を経過したときは、新しいインングに入らない。終了時点で同点の場合は抽選とし○、×カードを最終出場の選手9人が交互に引き、○カードを多く引いたチームを勝ちとする。

4. 延長戦

同点の場合は時間内（80分以内）に於いて認める。但し、優勝戦は同点の場合7回終了後、プレーオフで決する。

5. タイブレーク

試合打ち切り時の最終メンバーの打順7番打者を3塁、8番打者を2塁、9番打者を1塁の走者として、1番打者が打席に入る。1アウト満塁で、通常のごとく3アウトまでプレーを行う。先行、後攻と同様に行い、得点の多少により勝敗を決する。（但し、1インングのみとする。）当然後攻めチームが3アウトとなる前に、先行チームの得点を上回ればその時点で勝敗を決定する。これを行い万一同点の場合は、上記3.の○×カード方式により、優勝を決定する。

6. コールドゲーム

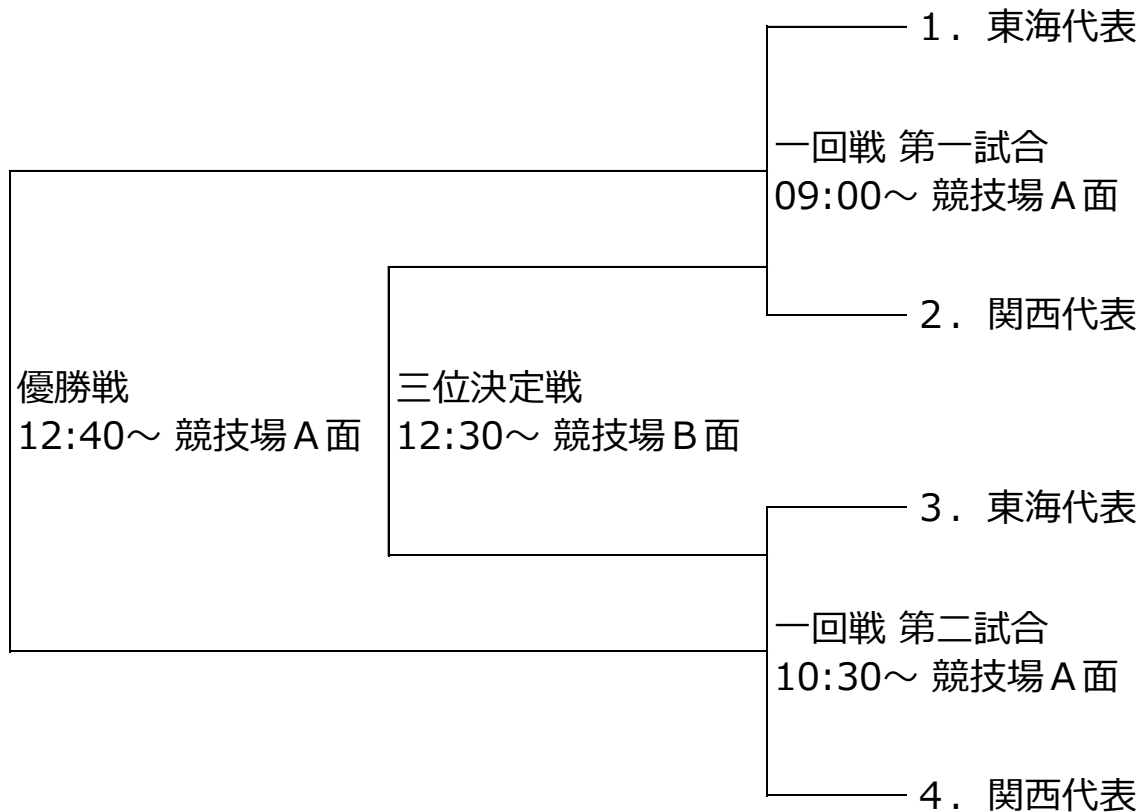
次の場合コールドゲームが成立し試合は終了する。

- ① 5回以降、7点以上の得点差がついたとき。（優勝戦は除く）
- ② 5回終了後、降雨などで試合続行不可能と判断し、両チームの得点差があるとき。

7. 投手の投球回数制限

この事項については今年度は採用しない。
投手の健康管理は、各チームの監督に一任する。

第24回 日本団地少年野球選手権大会 組み合わせ



大会申し合わせ事項

1. 使用球は内外ボールC号とする。
2. ヘルメット、レガース、プロテクターは着用すること。
3. 塁ベースは移動式とするも、次の処置をとる。
 - ①走者がいったん安全に塁に達した後、走者の衝撃で塁のバッグが定位置から離れた時は、その走者に対していかなるプレーも出来ない。
 - ②あるプレー中に塁のバッグ、またはホームプレートが定位置から離れた時引き続いて次の走者が進塁して来て、元の塁が置かれている地点に触れるか、またはその地点にとどまれば、その走者は正規に塁に触れたものと、または正規に塁を占有したものとみなされる。